

第1回 十和地域まちづくり推進協議会 会議録要旨

【日 時】 令和元年10月24日（木）午後7時00分～9時00分

【出席者】 岡本英二委員、安藤岳委員、松下洋平委員、山本大輔委員、宮地孝夫委員、田頭誠志委員、酒井紀子委員、矢野健一委員、吉川万紀子委員

【行政側】 富田地域振興局長、細川町民生活課長、畦地町民生活課副課長、杉本地域振興課副課長、大元まちづくり推進室室長、中井四万十川対策室室長、坂東四万十川対策室主任、井口地域振興課主査

【傍聴人】 なし

【議事及び質疑応答】

○全員、簡単な自己紹介あり。

○会長及び副会長の選出

(杉本_地域振興課副課長)

まずは会長を決めたいと思う。立候補する人はいないか。

(田頭誠志委員)

会長へ立候補する。

(杉本_地域振興課副課長)

田頭委員から手が挙がったが、他に希望者はいないか？いないようであれば田頭委員に会長をお願いしてよろしいか。

※全員、異議なし

それでは田頭委員を今年度の十和地域まちづくり推進協議会の会長に決定する。

続いて、副会長を決めたいと思うが立候補する人はいないか。

※挙手なし

(田頭誠志会長)

早速だが、自分の意見として発言させてもらう。会長は私ということになったが、この会議には女性の委員も居る。副会長には女性委員をお願いしてはどうかと思うが、いかがか。

※全員、異議なし（女性委員2名で協議し、酒井委員が引き受けることに決定した。）

(田頭誠志会長)

それでは、副会長は酒井紀子委員がなっただけのことに決定した。また1年間よろしくお願ひしたい。それではまず、今回から初めて委員になった方もおいでるので、前年度の振り返りを事務局から簡単に説明してほしい。

(井口_地域振興課主査)

※事前に郵送していた資料（前年度の意見書に対する町の取組と方向性）を基に説明。

(田頭誠志会長)

あらかじめ事務局から郵送されていたので、すでにお目通しいただいていたかと思うが、これに対する質問はないか。

(酒井紀子委員)

事務局説明に対する質問ではないが、魚道および十和ホームページ開設に向けて、スケジュール等決定していることがあれば教えてほしい。

(中井_四万十川対策室室長)

前年度、魚道の設置について協議したと思うがこれに関して自分から進捗状況をご報告したい。四万十川東部漁業協同組合とこれに関心を寄せている町議会議員と協議をしている。魚道設置の候補地となっている戸川の堰周辺にはどういう魚がいるか、堰の上流はどうか。できれば1年くらいかけて調査したいと考えている。特にこういった取り組みに対して、四万十川流域に住む子どもたちが関われるような仕組みが必要と思う。すでに、幡多地域に在住で生態学者の山下慎吾さん（流域保全・再生活動に従事する博士（学術）。魚と山の空間生態研究所代表。高知工科大学非常勤講師。）には、四万十町でのこういった取り組みを一緒にやってみませんか？と話をしている。ただ、実施時期は未定。来年度の4月、5月辺りが現実的ではないかと考えている。今後も関係者と詰めて協議を継続させていきたい。

(田頭誠志会長)

役場の主管課はどこになる？

(中井_四万十川対策室室長)

候補地の戸川川の河川管理は県。調査の実施主体は、四万十川対策室。質問なども私たちの室へいただけたらと思う。

(田頭誠志会長)

はい。それでは、もうひとつの十和ホームページの開設について事務局から報告をお願いしたい。

(杉本_地域振興課副課長)

町としては公式ホームページや各種 SNS での情報発信はこれまでも行ってきたことから、新たに十和地域に限定したホームページ等を開設する考えはない。ただし、運営主体を住民有志として SNS 等で地域情報を発信したい場合は、必要に応じた講師や講座等を紹介するなど町として支援する。相談は随時受付、対応していく。

(富田_地域振興局長)

当面の相談受付窓口は、十和地域振興課とする。

(田頭誠志会長)

はい。その他質問等なければ議事に移る。ただ、今日は今年度最初の十和地域まちづくり推進協議会であるので、新たに協議する議題を何にするか、そこから決めなければならない。どうしてもこの件について話し合いたい、というテーマを考えてきた人は発言してもらえたらと思うが、もし白紙なのであれば、少し議題に関係したテーマなどを事務局から話してもらえたらどうかと思うがいかがか。

※全員、異議なし（意見なし）

(井口_地域振興課主査)

それでは、行政からテーマのご参考になればということで話をさせていただく。今日お配りした資料の中に、四万十町市街地再生基本構想（以下、基本構想）というホッチキス留めの資料がある。町は、四万十町の将来像とまちづくりの基本方針を町民と共有し、総合的かつ計画的なまちづくりを推進するため、「四万十町まちづくり基本条例」に基づく第2次四万十町総合振興計画を平成29年に策定し、8つの政策目標とそれに応じた施策目標を設定し、様々な施策を展開している。その中の「商工業の振興」では、旧町村の中心商店街を中心とした市街地再生計画を策定し、地域の特性に応じた施策を展開することとしており、この構想は、施策目標に沿った市街地再生計画を策定するために、町の方向性を示そうとするもの。ちなみに、今日お配りした基本構想は昨年度（平成30年度）完成した。今年度は、これを基にさらに具体的なプランを練りこんだ「基本計画」を作ろうとしている。十和地域では、「十川エリア」と「昭和エリア」の2つを基本構想における市街地の範囲と設定している。資料の中で、全町的な現状・課題・傾向等の地域別情報は最初のほうのページにまとめているのでまたお目通しいただきたいが、特に見ていただきたいのは13ページ～15ページの十和町

街地に関する整備方針とゾーニングの部分。

まず十川エリアは、地域内において一定の条件で区分した区域（以下、ゾーニング）をA~Eまで5つに分けた。また、昭和エリアもF~Hまで3つに分けた。

(富田_地域振興局長)

なにかきっかけがないと話をしにくいということもあるかもしれないので、少し補足説明させていただく。

※基本構想の詳しい説明あり。

十川と昭和のゾーニングについてももう少し踏み込んで見ていくと、例えば十川エリアのAは商店街振興ゾーンという名称で区分した。このエリアは恩地農機（店）から三好屋（店）ぐらいまでのイメージで考えていただきたい。エリア内にはこういう日用品を取り扱う商店やJA十和支所、役場の十和地域振興局などがあり、十和地域の住民の生活サポート拠点となっている。

町として構想に書かせてもらっているのは、高齢化や後継者不足が著しいなか、後継者育成やチャレンジショップの整備・運営等に取り組み、商店街の振興を図ってみてはどうだろうか。

また、移転が予定されている小鳩保育所の移転後の利活用を検討してみてもどうだろうか。

ほかにも、駅前開発ゾーン、地産地消・外商・観光振興ゾーン、流通拠点充実ゾーン、教育・保育推進ゾーンなど。十川エリアはこういったゾーニング。

一方、昭和エリアは同じように駅前開発ゾーンがあるが、昭和にはふるさと交流センター等があり、キャンプだけでなくカヌーやラフティング、レンタサイクルが体験できるアウトドアの拠点となっていることから、その周辺をアウトドア・交流促進ゾーンとした。また、国保十和診療所やこいのぼり荘周辺を医療・福祉充実ゾーンとエリア分けした。

ただ、これはあくまでも役場側がゾーニングをし、それぞれのエリアで考えられる現状の課題等を整理したもの。

先ほど説明があったように、今年度はこれらの整備方針をもっと具体的に「じゃあ、どうしていくのか」という部分まで書ききった「基本計画」にしていく必要がある。町としては、この十和地域まちづくり推進協議会の委員の皆さんにご意見を聞いてみたいという思いがある。

田頭会長がおっしゃるように、どうしてもこの件について自分は協議したいんだという方は遠慮なくご意見をいただきたいと思うが、もし議題が全くの白紙状態で、十和の何についてみんなで話し合おうか…と考えているのなら、町としては今お話ししたようなそれぞれ個々の整備方針に対する、具体的プランを話し合ってもらえたら、基本計画も非常に書きやすい。委員みなさんここに住んでいる方たちばかりなので、イメージもしやすいのではないかと考えている。いかがだろうか。

(田頭誠志会長)

はい。議題の参考になればということで、いま事務局から説明をいただいた。ちなみにこの基本構想、委員の皆さんは見たことがある？町のホームページには掲載している？

(大元_まちづくり推進室室長)

ホームページにも掲載している。

(酒井紀子委員)

基本構想のことは知っていたが、中身をじっくり読んだことはない。

(田頭誠志会長)

こんな感じで町が進めようとしている。この会の議題を決める参考になる。委員皆さんの意見を伺いたい。私の意見としては、これはもう作らなければならないもの。当然、予算も伴うならここを語り合わずにまちづくり推進協議会の意義は、発展性はないと私は思う。基本構想、基本計画に関する議論をして、これをより良い実効性のある中身にしていきたい。

(山本大輔委員)

この議題というのは、今回だけ？それとも継続審議？例えば、今年はこれに特化する…とかにしないと、中身が詰まったものにならないのでは。

(杉本_地域振興課副課長)

この十和地域まちづくり推進協議会の任期は、来年9月末まで。今年度は3月末まで計4回の会議が開催できるよう予算を確保しているが、任期から考えると年度をまたいで来年度もある。深い議論も歓迎したい。ただ、気になるのは基本計画策定のメ切だが…

(大元_まちづくり推進室室長)

基本構想はそもそも、本庁のにぎわい創出課が主管課だった。ただ、他業務等の都合もあり企画課がその業務をすることになって、去年の年末に出来上がった。基本構想、基本計画を策定することで国の補助金や県の予算を取れることもある。メ切は、今年度末に縛られることはない。だが、未着手だけは避けたいところ。

(田頭誠志会長)

確認だが、策定が目的ではなくてこれを書いたら実行するということか。

(富田_地域振興局長)

もちろん。

(矢野健一委員)

この協議会の意見が、計画に反映されるのであればそれは意味のあること。

(田頭誠志会長)

ちなみに、この基本計画についてだけを話し合う会が別途、立ち上がる可能性は？

(富田_地域振興局長)

ない。ただ、これはあくまでも市街地に絞った計画である。

(大元_まちづくり推進室室長)

市街地に絞っているが、ひいては十和全体の活性化に繋がるのであればアリではないか。窪川地域には、まちづくり推進協議会がない。しかし、中心市街地活性化委員会は立ち上がっている。大正、十和とは逆パターン。

(松下洋平委員)

まちづくりの基本的なことが、この基本構想には書かれている。だから、これについて話をすれば良いと思う。Aゾーン、Bゾーン…と今はざっくり書かれているけど、これを深く掘り下げて議論することは非常に意味があると思う。

(富田_地域振興局長)

この基本構想には、施設整備（ハード面）のことしか書いてない。ソフト面も合わせて考えていただけたら、内容に厚みのある計画になると思う。ここに書かれたゾーニングにはこだわらずに自由にご意見をいただきたい。

(宮地孝夫委員)

それで良いのでは。

(酒井紀子委員)

なにかひとつ別の議題を出したとしても、きっと基本構想のどれかには被ってくると思うので、私もそれで良いと思う。

(田頭誠志会長)

了解した。では、その流れで良いか。今回限りか、継続審議か…、時間的な制約もあるので2回～3回ぐらいの協議でどうか。

※全員、異議なし

はい。より充実した内容にしていきたいと思うので協力よろしく。

～休憩（10 分間）～

（田頭誠志会長）

再開する。十和のにぎわいを考えたいと役場も思っているということは先ほど確認した。提案だが、十川は A の商店街振興、昭和は G のアウトドア・交流促進について話し合っただろうか。福祉と教育は、別にじっくり話し合ってみては。今日はまず、2 本の議題。ゾーニングに縛られる必要はない。今日の会の残り 1 時間は、この 2 本の柱で話し合おう。まず十川の A ゾーンについて、質問や意見はないか。

（松下洋平委員）

商店街の後継者育成について、町のメニューは何かあるか。こういったものを考えている、といったようなプランは。

（富田_地域振興局長）

四万十町商工業振興条例に基づいて、商工業振興助成金がある。たくさんメニューがあり、本年度はこの助成金を使って整備した店舗が十和地域にもある。人材育成事業も商工業振興助成金の対象等には含まれていたように思うが…。

（松下洋平委員）

四万十町商工会も助成金はあるが、人材育成部門は無い。他自治体などの事例を聞きたい。

（田頭誠志委員）

皆さん何か案はあるか。元協力隊の菊池くんは鍛冶屋。地域で失われつつある鍛冶屋が復活した。

（矢野健一委員）

町外から来た人には助けになる制度がある。逆に、町内に住んでいる人は？新しい人が何かやるにはお金も要る。店舗の整備もそう。ゼロからのスタートはきつい。例えば、貸し店舗の紹介など役場が間に入ってくれたら借りる人も安心感があると思う。チャレンジできる環境を整えることが大切なのではないだろうか。

（酒井紀子委員）

十和地域に無い商店のイメージはある？みんなが、ここにあれば良いのになと思う店。また、この十和地域に住まないと貸せない物件は？（いわゆる中間管理住宅）

（田頭誠志会長）

町外から来た人への補助はある。が、町内の人向けの助成でパッと分かるものが無い。

（矢野健一委員）

十川でも、そろそろ店じまいをするのではないかという話を聞く店もある。じゃあ他に代わる店があるのかと言えば無い。まさに買い物難民になってしまう。十和にホームセンターは来るか？難しいだろう。役場で、店を閉めようと思っている人とこれから始めたいと思っている人とのマッチングをやるというのも面白いのではないか。

（田頭誠志会長）

窪川のチャレンジショップは？元は商工会がやっていたと思うが現在は？NPO に委託して管理か？

（富田_地域振興局長）

チャレンジショップは 1 年とか、そういう期間の縛りがある。僕は課題はそこにあると思う。

（松下洋平委員）

十和には無い。店じまいしそうな店舗に、事業継承してもらえそうな事業は何かないか。

(酒井紀子委員)

そもそも、後継者が欲しいと思っている店舗を把握することが必要ではないか。

(富田_地域振興局長)

店じまいしたい店舗と町のニーズのマッチング…

(酒井紀子委員)

すごい面白いアイデアを持って、ここの土地で何か始めたい人もいるかもしれない。前提として、店じまいをしようとしている店側が、継がせる気がないと始まらないが…

(田頭誠志会長)

チャレンジで町を賑やかす人が起こることが大切。店をやるうちに、店主の人柄も分かって来る。地域の人もそれを見ているから、あの人にこれを頼みたい…という信頼関係が築かれる可能性もある。何か役場側からないか。

(井口_地域振興課主査)

逆に皆さんの意見を役場も聞きたい。空き店舗、空き家のことなど。ここにあるよっていうのを皆さんに教えて欲しい。先日も、中間管理住宅に短期滞在した方をご案内した。ここが気に入ったので移住したいと言ってくれた。希望する間取りの家など、具体的なことも語ってくれたがそれにマッチする物件が思い浮かばなかった。その方が言っていたが、十和地域には不動産屋さんがあるわけではないので、自分のように地縁のない者が引っ越してこようとする場合、どうしてもインターネットで検索するしかない。だが、そういった情報は載ってない。

(田頭誠志会長)

なるほど。たしかに不動産屋は十和には無い。一方、チャレンジショップについてだが例えば十川駅には三角屋根の十川物産観光センターがある（現在は使われていない。）

(富田_地域振興局長)

行政としては、あの場所は道路から少し高い場所にあるし目立たない。もしあの場所をチャレンジショップに…としても、人が来るだろうか。そこが心配。

(矢野健一委員)

駐車場がない。わずかな台数しか、停められない。

(田頭誠志会長)

彦市周辺にも、歴史を感じる素敵な家屋が残っている。個人的にはそういう場所がチャレンジショップに向いているのではないかと思う。

(酒井紀子委員)

今、役場で十和地域内をみっちり歩いて空き家や空き店舗を探す人はいるか。

(富田_地域振興局長)

居ない。

(矢野健一委員)

空き家は増えているという実感がある。

(宮地孝夫委員)

徐々に増えていると思う。

(酒井紀子委員)

でも、その空き家はどこ？とか分からないことがあって、手詰まり感がある。

(宮地孝夫委員)

昭和中学校は？チャレンジショップに。全国的に人気のある大型店舗が来たら絶対人は来る。県外なのにわざわざ行く人がいる。

(田頭誠志会長)

物件として可能性は。

(富田_地域振興局長)

あるのではないか。

(宮地孝夫委員)

テナントとか。

(田頭誠志会長)

管理は現在、どうなっている？

(富田_地域振興局長)

四万十町の普通財産になっていたと思う。

(宮地孝夫委員)

駅よりも、昭和中学校のほうが考えやすいのでは。

(矢野健一委員)

診療所の移転がどうなのか気になる。

(富田_地域振興局長)

国保十和診療所は、土砂災害警戒区域のエリアのイエローゾーンになっている。例えば、避難所についてはイエローだからと言って移転していると、大半の施設を移動しなければならなくなる。ただ、医療機関は人命を守る重要な施設だから、イエローであっても移転の検討をしないといけないと思うが、施設を動かすには大変な金額もかかる。慎重に考えないといけない。もう一つ、昭和中和昭和小の間のブロック塀だが全部撤去することになっており、歩道と駐車スペースの設置を予定している。来週この件で、県土木と打ち合わせをすることになっている。

(田頭誠志会長)

はい。ひとつは昭和中学校を一時的にチャレンジショップにしてはどうかという意見。

小鳩保育所の移転後の利活用は？

(細川_町民生活課長)

まだ全くの白紙状態。保育所への進入路が狭いことや、四万十川の増水時の問題など課題は山積している。

(酒井紀子委員)

たしかに課題はあるが、あの場所をそのまま遊ばせるのはもったいないと感じる。

(田頭誠志会長)

チャレンジに他県から人を呼ぶことについては？

(矢野健一委員)

外向けに、道の駅とか旧ミリオン（パチンコ店）とかそういった場所へ、商売できる小さい店を置くことはできないか。外向けというのは、町外から十和に遊びに来る観光客に向けて、物を売りたい町内の人のための、という意味で。

(大元_まちづくり推進室室長)

ちょっと意見を構わないか。さきほどからの議論で、後継者育成からいまチャレンジショップに話題が移行しているが、ここは結びつくのだろうか？町民にとって、無くては困る店の存続とは、どう結びつくのか。視点はどこなのか。

(酒井紀子委員)

町内の人のやる気、副業…チャレンジショップ。

(松下洋平委員)

自分も家業を継いでいまその仕事をしている。血縁関係があるから。新規事業イコールチャレンジショップというイメージ。チャレンジショップをやって、地域とのつながりができる。

(田頭誠志会長)

インターンシップは？その店で1年とか1年半とか働いてみて、本人がここでやれると感じてもらいたいし、店主も実際に働かせることでこの人に店を任せたい、と思ってもらえるのではないだろうか。

(大元_まちづくり推進室室長)

そういう制度は農業にはたくさんある。ただ、商業には聞いたことが無い。

(酒井紀子委員)

そういう取り組み、非常に面白いのではないか。

(中井_四万十川対策室室長)

少し昔の話になるが、大宮産業なんかは有名な話。生活基盤を失われては困る、人に来て欲しい、と考えた地域の人が自主的に運営をした。今の話の流れで言うと少しアプローチは違うかもしれないが、十川エリアの商店にも参考になる話だと思う。

(宮地孝夫委員)

自分は昔、大宮産業の辺りで勤務していたから実際が分かる。あの店は地理的な問題もあり、地元にはないと困る。ほんとに、みんな困る。だから多くの地元の人々が協力しあった。

(中井_四万十川対策室室長)

あの事例は集落活動センターの走りだと思う。

(宮地孝夫委員)

ガソリンスタンドと、雑貨店。

ところで自分が十川の商店の店主だと想像すると、周りの人口がどんどん減っていくなかで、例えばこの先自分の子どもに店を継がせようとはなかなか思えない。親の気持ちとして、なんとなく子どもが苦勞するのは分かっているような…。すみません、そもそも人が居ない。こういう議論は堂々巡りになってしまうが。

(田頭誠志会長)

チャレンジショップの候補に小鳩保育所跡や昭和中学校。ただこれだけでは、後継者不足の解決にはならない。基盤がしっかりしないと…もっと深い議論が必要だと思うが、時間も残り15分を切ったので申し訳ないが次の議題に行く。観光や交流といった視点で考えると、三島キャンプ場はリニューアルオープンを控えているがいま、どういう段階にあるのか。

(杉本_地域振興課副課長)

地元と、業者は決まって進んでいる。ふるさと交流センターについては観光協会へ指定管理。三島のほうは地元との協議も進んでいるなかで、なかなか入って行きづらい。だがふるさと交流センターの方なら当推進協としての意見は言える。

(富田_地域振興局長)

三島は、今回の市街地再生の基本構想および計画のエリア対象外。地元の人たちの土地もあるし、運営にもかかわっていきたいという意欲もある。推進協としては見守る程度で良い。ここで意見を言いたい方は、おっしゃっていただいても構わないが。

(矢野健一委員)

三島はとにかく毎年のように増水時に水に浸かる。かさ上げの必要がある。

(酒井紀子委員)

経営は順調か。

(宮地孝夫委員)

今年ほど水が出たら、成り立たないのでは。

(酒井紀子委員)

閑散期をどうするか。それが素朴な疑問。それと話は逸れるが、こいのぼり公園上のトイレをどうしても直して欲しい。1個、ずっと壊れている。女子トイレの方。

(矢野健一委員)

管理はどこ？

(富田_地域振興局長)

おかみさん市。

(田頭誠志会長)

アウトドア…県は体験型観光に力を入れている。

(矢野健一委員)

交流センターは食べ物、土産物は無い。隣に食堂はあるが。

(中井_四万十川対策室室長)

もったいないのは、川に降りる場所。車で河原に乗り入れられるところが無い。町外から来た観光客などには分からない。トイレも無い。(あっても誰が管理するのかという問題はあるが。)

キャンプ場にゴミだけ捨てていく人もいる。地元は呼びたくないという人もいる。実際どうなのか？

四万十川対策室は、可能性があるなら草刈りもして、ちゃんとしたいけれど…こいのぼり公園も、河原へ下りる道はない。実際あっても、そういう場所は消防道である。

(矢野健一委員)

小野の河原。いまパッと思いつくのは。道を太くするとかはどうだろう。

(大元_まちづくり推進室室長)

河内にも河原まで降りる道はある。

(田頭誠志会長)

井崎、広瀬は…

(宮地孝夫委員)

広瀬の河原にもごみを捨てていく人は居る。(消防道があるので、川を降りて)

(富田_地域振興局長)

これらは消防道であり、川に降りられるとしても観光客に車を止められると困るため、情報として出しにくい。

(田頭誠志会長)

大きな理念が大切。昭和地域の、○で囲われた部分はアウトドア・交流促進ゾーンと銘打っている。交流、の部分疑問。地元の人が暮らす川べりに、観光客が来て交流するのか。ここを練ったうえでのプラン作成が要と思う。地元の同意と理解。来る人にもモラルと周知。

(宮地孝夫委員)

道の駅。ポンプで水を揚げて、安全に川の水に触れられる仕組みはどうか。変わった道の駅で面白いのではないかと考えたことがある。

(田頭誠志会長)

四万十市ではまさに、街中に四万十川の水を流している。一部ではあるが。さて、ここまで話したところで時間になった。次回の会は、少しアウトドア交流に触れておいてから進めようかと思うがどうか。次回メインで話し合うことは、基本構想で言うと、14 ページの十川エリアの E 教育・保育推進ゾーン、昭和エリアだと H 医療・福祉充実ゾーンのすることについて。そういう流れでどうだろうか。

(富田_地域振興局長)

今日の振り返りは。

(田頭誠志会長)

今日の議論の中で、商工関係の法令や助成金、それから他事例なども知りたいという声があった。次回の会に向けて、これらの関係について事務局に調べてもらって用意をお願いしたい。また、次回の会の案内に合わせて（間に合えば）これらの資料を合わせて郵送してもらえたらと思う。

(富田_地域振興局長)

次回話し合うテーマも決まったので、それぞれ各人が構想など持ってきていただければありがたい。

(田頭誠志会長)

それでは本日はこれで終了とする。次回もよろしくをお願いしたい。

— 終 了 —